

2014 年度 FJE 国際競技力向上システムの構築事業
及び国内ランキングの位置付けについて

(公社) 日本フェンシング協会
強化本部

【概要】

公益社団法人日本フェンシング協会（以下、当協会）では、国際競技力向上のため国内ランキング制度を施行した。（2012 年度にトライアル実施、2013 年度より本実施）

当協会では今後オリンピック競技大会や世界選手権でのメダル獲得のため、包括的な強化プロセスによる強化事業を実施する。当協会では、オリンピック競技大会や世界選手権でメダルを獲得するためには少なくとも世界ランキング 16 位内にランクインする程度のレベルが必要であると考えており、そのレベルまで強化するためには過去の実績から、強化拠点（JISS/NTC）に優秀選手を招集し、継続的かつ計画的に強化プログラムを実施する必要がある。それができない場合、メダル獲得はおろかオリンピック出場さえ難しいことは明白である。

本事業は、有望選手を対象に、短期的成果に影響を受けない安定した強化環境を構築することを目的としている。また、従来の方法と比べ、A～C の区分を設けることにより、新たにトップアスリートを目指す選手にも、ステップ型の目標設定をしやすいナショナルチーム構造とした。

【国際競技力向上事業】

*1 …FIE シーズン（9 月～7 月）

| | 選考方法 | 人数 | 対象事業 |
|---------|------------------------|------------|------------------------|
| Group A | 前シーズン*1世界選手権出場選手を基本とする | A+B 上限 8 名 | i) 強化拠点での強化プログラムへの招集 |
| Group B | 前シーズンのワールドカップ出場実績から選考 | | ii) ワールドカップ等へ派遣 |
| Group C | シニア国内ランキング上位者 | 上限 4 名 | i) 強化拠点での強化プログラムへの招集 |
| | ジュニアカデ国内ランキング上位者 | 若干名 | ii) C から選抜しワールドカップ等へ派遣 |

- 強化選手を group A, group B, group C の 3 区分とする。
- group A,B は昨年度実績により、合わせて 8 名を上限に抽出する。これら group A,B をワールドカップ等の主力選手として派遣する。
- group C はシニア国内ランキングより上位者 4 名+ジュニア国内ランキングより上位若干名+強化本部が推薦する若干名で構成し、group A, B と共に強化拠点強化事業に参加させる。また、group A,B と共に group C から数名を毎回ワールドカップへ派遣する。
- 2014-15 シニア国内ランキング group C 選考対象競技会一覧のとおり
- ポイント配分
 - 全日本選手権（個人戦）大会
1 位 24 点 / 2 位 20 点 / 3 位 18 点 / 5～8 位 12 点 / 9～16 位 8 点 / 17～32 位 4 点
 - 別紙国内競技大会
1 位 16 点 / 2 位 14 点 / 3 位 12 点 (4 位 11 点) / 5～8 位 8 点 / 9～16 位 6 点 / 17～32 位 2 点
 - NEXUS ランキングマッチにおいて敗者復活方式を導入する場合は下記とする。
1 位 16 点 / 2 位 14 点 / 3 位 12 点 / 4 位 11 点 / 5～8 位 10 点 / 9 位～12 位 8 点 / 13～16 位 6 点 / 17～24 位 4 点 / 25～32 位 2 点

【附則①】 group C 対象選手の選出方法

フルール：別紙 6 大会中 上位 3 大会のポイント上位者 4 名
エペ：別紙 5 大会中 上位 3 大会のポイント上位者 4 名
サーブル：別紙 5 大会のポイント上位者 4 名

【附則②】 ポイントが同点の場合は最終ランキングマッチの順位を優先する。